

2011年の実績 2011.01.01 ~ 2011.12.31

市民活動をとりまく基盤整備事業

- 調査研究・政策提言
 - ひょうごNPO研究会（HYOGONの運営参画）
- 制度整備
 - NPO法人設立・運営手引書改訂プロジェクト（新しい公共支援事業）
- 講師・委員等派遣事業
 - 年間25回、兵庫県内を中心に派遣

市民がつながるネットワーク事業

- 情報発信事業
 - BAN-BANラジオ
 - 年間45回の出演により約144の地域情報を発信
- コーディネート事業
 - 東播磨NPO連絡会の開催（新しい公共支援事業）
- 企業との連携事業
 - ・グリーンモール 13団体をコーディネート
 - ・レポREPOスタジオ 15団体をコーディネート
 - ・ニッケレボス夏祭り 12団体をコーディネート
 - ・高砂マラソン 3団体をコーディネート
 - ・若い夢フェスティバル2011 2団体をコーディネート
 - ・トータルフェア 1団体をコーディネート
 - ・加古川サティのブース出展 2団体をコーディネート
- 被災地を応援する加古川市民ネットワーク（事務局を担当）

市民力がいきるプロデュース事業

- 市民力がいきる公共施設の運営事業
 - 東播磨生活創造センター「かこむ」の運営
 - ・あなたが創る☆かこむ講座
 - 【開催】1/29、2/22、3/2、3/19、4/30、5/30、6/21、7/31、8/9、8/24、9/7、10/9、11/16
 - 【主催団体】13団体
 - ・あなたが創る☆かこむイベント
 - 【開催】1/30、3/13、5/28、6/28、7/9
 - 【主催団体】5団体
 - ・みんなで創る☆かこむ〇〇
 - 【開催】10/29、12/17
 - 【主催団体】計2団体（参加団体17団体）
 - ・東播磨市民活動フェスタ2011の開催（3市2町の連携開催）
 - 【開催】11/3、11/5、11/6、11/19、11/20、11/23、11/27
 - 【主催】稲美町社会福祉協議会
 - かこがわ市民団体連絡協議会
 - 播磨町野添コミュニティセンター
 - あかし市民活動団体協議会
 - 高砂市社会福祉協議会
 - ・かこむ de シネマ
 - 6/11 シネマ運営ボランティア発足。
 - 【会議開催】6/11、7/9、8/13、9/10、10/1、10/15、12/3
 - 【上映回数】計5回
 - ・かこむ de クッキング（関西電力㈱とのタイアップ事業）
 - 【開催】4/19、7/8、9/26、11/25
 - 【団体紹介】計4団体
 - ・花と緑の教室（県立フラワーセンターとのタイアップ事業）
 - 【開催】講座・実習・バスツアー・ボランティア研修等計15回
 - ・魚のさばき方教室（兵庫県漁業協同組合連合会とのタイアップ事業）
 - 【開催】計9回開催

市民力がいきるまちづくり事業

- Kako-Style の発刊
 - 9/30 1万部を完売

自律をうながす人材育成事業

- キャリアデザイン支援
 - キャリアデザイン独自プログラムの開発
- 若者への就労支援
 - 若者しごと倶楽部サテライト播磨の運営
 - ・心理相談
 - 【開催】2/23
 - ・働き続ける力養成講座
 - 【開催】1/14、1/21
 - ・職業人に学ぶ講座
 - 【開催】3/1
 - ・社会人基礎力UPトレーニング
 - 【開催】5/27、6/24、11/28、12/22
 - ・職場 de トレーニング
 - 【開催】8月、9月、10月、12月 参加者計4名
 - ・ボランティア体験
 - 【開催】1月、8月 参加者計3名
 - 兵庫県、ひょうご・しごと情報ひろばとの連携
 - ・やりがいシゴト発見ツアー
 - 【開催】2/19
 - ・自分にとっての「働く」を考えるセミナー
 - 【開催】3/5
 - ・働くイメージトレーニング
 - 【開催】9/30、10/28、11/25、12/17
 - 加古川市との連携
 - ・就職支援講座
 - 加古川市との共同開催
 - 【開催】2/5・12・19・26、7/2・9・16・23
 - ・女性のための就職応援会
 - 【開催】9/16

自立と発展のためのNPO・CB支援事業

- コミュニティ・ビジネス支援事業
 - コミュニティ・ビジネス支援事業
 - 生きがいしごとサポートセンター播磨東の運営
 - ・NPO起業塾 × 運営塾
 - 【開催】1/11、2/1、3/1、5/24、7/26、9/27、11/29
 - ・これからの生き方をデザインする旅
 - 【開催】1/28
 - ・リーダーのための組織内活性化セミナー
 - 【開催】2/18
 - ・CB・SB 起業セミナー
 - 【開催】3/12
 - ・CB・SB 入門講座
 - 【開催】7/3、10/25、11/3
 - ・事業報告書の書き方講座
 - 【開催】3/29
 - ・市民活動を応援する 助成金・融資セミナー
 - 【開催】10/1
 - ・市民活動を応援する 助成金申請実践セミナー
 - 【開催】11/5
 - ・目指そう！認定NPO法人 改正NPO法と新寄付税制
 - 【開催】12/13
 - ・ソーシャルビジネススクール
 - 【開催】11/26（プレ講座・スクール説明会）
 - 12/3、12/24（本講義）
 - ・生きがいしごとサポートセンター合同事業
 - 地域を元気にするビジネスのすすめ
 - 【開催】7/9
- 生きがいしごとサポートセンターによる就職促進事業
 - ・NPOインターンシップ・就職フェア
 - 【開催】2/6、7/3、11/23

ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業

2011年シーズ加古川を支えてくださった会員の皆さま

荒巻 亨	石田信隆	市位壽宏	井上律子	今出正俊	大西一平	落合英樹
大嶋啓史	香川憲夫	柏木登起	川端建一郎	神田信弘	衣笠仁浩	三幸道路(株)
宗教法人大蔵院		(株)ゼロ・ワン・ゼロ		高橋 逸	田中 茂	長尾禎則
中里日出男	中村義弘	永谷陽子	西川 廣	西川敦子	橋本忠明	阪神工業(株)
(株)フジヤ號	船本博一	NPO法人フリーヘルプ		(株)兵神自動車		(株)北斗
増田芳樹	安井妙子	山中 満	NPO法人福祉苑リーベの会			
有友尚子	石堂美紀代	井上清子	井上幸子	植木純子	佐藤和子	下村千登勢
末澤正臣	都倉香緒里	稗田みゆき	養田三智子			

※敬称略、五十音順

NPO Seeds Kakogawa Activity Report 2011

2012年の展望

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、2011年は、東日本大震災をはじめ、さまざまなことが起こった年でした。「新しい公共支援事業」のスタート、「NPO法」の改正、「新寄付税制」の施行など、震災を含めて、我々を取り巻く環境が大きく変化を始めた年でした。阪神・淡路大震災から17年、NPO法が施行されて13年、東日本大震災という自然界からの強烈な洗礼を受けながら、今、私たちは、社会の仕組みが変わっていくターニングポイントに立っています。

企業の収益力が落ち、税収が減って、「公共＝パブリック」のみでできることの限界が見えてきました。これからは、産業界と行政（公共）に加えて、社会全体（＝ソーシャル）が、何らかの負担をして、社会を創り上げていかないとけない時代に入っていると思います。私たちNPO法人にはその「社会全体」の一翼を担うことが期待されています。

2012年、法人を設立して10年の節目の年を迎えます。過去の10年、とりわけ後半の5年は、委託事業や補助事業、指定管理事業などを多く受け、いろいろな事業を手掛けてきました。また、全国の中間支援組織で作る「NPO支援センター」の会議にも参加し、業界全体の動きや状況を学んだり、「NPO法人会計基準」の策定に関わり、NPO法人の情報開示の精度を高める施策作りに参画するなど、いわゆる中央の情報も積極的に収集しました。今、改めて次なる10年の方向性を模索する時、常にグローバルな視野と思考を持ちつつ、東播磨のこの地域に根差し、この地域で信頼される中間支援組織を目指さなければならないと思っています。

2012年を地域密着戦略スタートの年と位置付け、あらゆる事業に「地域」という視点を持たせます。

本年もご支持いただきますようお願いいたします。

理事長 田中 茂

Contents

2012年に向けて 注目事業

東日本大震災 復興支援

NPO法人設立・運営手引書改訂プロジェクト

東播磨生活創造センター「かこむ」第2期目指定管理者に決定

兵庫県に市民ファンドを ーひょうごコミュニティ基金(仮称)

2011年の実績

NPO Seeds Kakogawa Activity Report 2011

発行・制作：特定非営利活動法人シーズ加古川
〒675-0065 兵庫県加古川市加古川町篠原町111
TEL：079-422-0402 FAX：079-421-0407
Email：info@np-seeds.jp

賛助会員

東播磨生活創造センター「かこむ」 第2期目 指定管理者に決定 一人々がつながり合う施設へ

この度東播磨生活創造センターの指定管理者として、新たに第2期となる2012年度からの3カ年を受託することが12月14日兵庫県議会で可決され、正式に決定しました。

第1期目(2009～2011年度)では、施設の利用率の向上やイベント・講座の開催などに力をいれてまいりました。その結果、施設の認知度が高まり、多くの方にご利用いただける施設として、センターの基盤づくりが概ね整いました。

第2期目となる2012年度からは、第1期をさらに発展させる形で、つながり合う施設「ユナイテッドスペース」をコンセプトに、以下の3点を基本方針に掲げます。

- 1) 多様なネットワーク創造の支援
- 2) 成長へとつながるプログラムの充実
- 3) 広域的な生活創造活動への支援

市民一人ひとりが施設利用を通じて、つながり合い、学び合うことでスタッフと共に成長できるよう運営してまいります。4月より大きくリニューアルする新たな「かこむ」に、ぜひご期待ください。



兵庫に市民ファンドを ひょうごコミュニティ基金(仮称)創設

県内の6つのNPO法人が協働して市民ファンド「ひょうごコミュニティ基金(仮称)」を立ち上げようとしています。これまで日本では、トヨタ財団や日本財団など、企業が財団を設立する形がほとんどでした。それが最近、市民ファンド立ち上げの動きが出始めています。全国市民ファンド推進連絡会の定義を借りると、「市民ファンドとは、『民』が『民』を支援する資金循環の仕組みとして、市民からの志のあるお金を集め、市民社会づくりを目指して公益的な活動をおこなっているNPOなどへ助成する仕組み(設立趣意書より)」です。寄付税制が変わったことで、寄付金に対して税額控除を受けることが出来るようになり、これが市民ファンド設立の動きの後押しをしているのです。

地域を元気にするために寄付をしたいという市民と、地域を元気にする市民活動をつなぐ仕組みをこの兵庫でも創りたい、そんな想いを持ったNPOの仲間が集まり、動き出しました。

ただ、財団の運営そのものは厳しいものがあります。昔のように利息を活用して助成することが難しい金利環境からです。また、小規模の財団は助成額以上の運営費用がかかってしまうという問題もあります。そこで、これらを解決するために、「ひょうごコミュニティ基金(仮称)」では、「子ども」「障がい者」などのテーマ別の基金や「加古川」「明石」などの地域型の基金など、複数のいろいろな基金と一緒に「入居」するマンション型基金を目指しています。これにより、効率的に助成する仕組みが実現できるものと考えています。

この方法を用いて夢の「かこがわ市民基金」を実現させようと思っています。今は、このような基金を応援していただける方を募っているところです。まずは、署名運動にご協力いただいで、地域のサークル活動やボランティア活動、市民活動を支える基金の応援人になって下さい。よろしくお祈りします。

WEB上からも応援できます!
目標の3,000人を達成できるよう、皆さまご協力をお願いします。
<http://hyogo.communityfund.jp/>



東日本大震災復興支援 加古川と岩手で展開

3月11日に発生した東日本大震災を受けて、当法人は、4月18日に第1次調査隊を派遣し、支援対象を岩手県としました。第1次調査隊以降も支援策を模索し、12月末までに計12回の派遣を続けました。その中で、「もりおか復興支援センター」「川井ボランティアキャンプ」の開設支援を皮切りに、のちに支援の中心拠点となる山田町では、「山田町災害ボランティアセンター」に、職員を3ヶ月間にわたり常駐させ、センター運営のサポートやコミュニティづくりの支援を実施しました。さらには、県内外のさまざまなプロジェクトのサポートを行いながら、地元キーパーソンやキーとなるグループの発掘も行いました。「山田町災害ボランティアセンター」の機能変更に伴い、10月末で第1段階での支援に区切りをつけ、11月以降は、現地の「まちづくり活動グループ」や中間支援組織への支援を中心に、第2段階へと入ります。

また、現地での支援活動だけでなく、加古川にいる市民の方々の「何かできることは」との想いを形にする場として、相互に情報交換ができる市民間のネットワーク組織「被災地を応援する加古川市民ネットワーク」を、4月27日に結成しました。現地のニーズに応じた物資の供給や千羽鶴の作成、支援金集めなど、加古川に居てできることを、市民が呼びかけ合い、実現しています。

今後もこれまでに築いてきたネットワークを活用し、当法人ならではの支援活動を続けて行こうと考えています。



NPO法人設立・運営手引書 改訂プロジェクトはじまる 県内23団体と兵庫県・神戸市が協働制作

今回のNPO法の改正で、大きく変わる点が3つあります。1つ目は、活動分野の範囲が17から20に拡がること、2つ目は、所轄庁が変わること、最後に、「認定制度」が大きく緩和されることです。NPO法人会計基準の内容なども盛り込まれており、今後NPO法人にはますますアカウンタビリティの向上が求められるようになってきます。

そこで、NPO法人設立・運営に関する基本的なガイドブックとなっている所轄庁発行の手引書を改訂し、兵庫県内の全NPOに対してアカウンタビリティの意識啓発等を行い、NPO法人の信頼性向上に寄与したいと考えています。

当法人は、法改正に伴い改定が必要となっているこのタイミングを捉えて、従来行政だけで制作していた手引書を、兵庫県内23の中間支援団体と兵庫県、神戸市が協働して制作することを企画・提案し、兵庫県版「NPO法人設立・運営の手引書」改訂プロジェクトを立ち上げました。このような中間支援団体と所轄庁との協働制作は全国にも例がなく、画期的かつ歴史的な取り組みです。早速作ったメーリングリストでは、23団体、兵庫県、神戸市の間で、活発な意見交換が行われています。

企画・提案者である当法人は、事務局として機能しています。手引書自体の制作コンセプトに関しても、全国48所轄庁の手引書を全て集めて比較検討するなど、見やすく、読みやすく、親切な手引書を目指して、さまざまな議論を始めています。今年3月には、他県もうらやむ兵庫県版「NPO法人設立・運営の手引書」が出来上がります。